

No.7  
30 Apr. 2005

日本・パプアニューギニア協会会報

# ごらくちよう

Bird of Paradise

発行 NPO法人日本・パプアニューギニア協会

発行日 平成17年4月30日

編集 NPO法人日本・パプアニューギニア協会広報部 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 九段会館6F(ニューギニア航空日本支社内) TEL03-5216-3555 FAX03-5216-3556

## PNG産品の輸出促進支援「太平洋経済交流ミッション」派遣報告

2005年2月まで貿易開発部開発支援課  
現在、海外調査部 中東アフリカ課 所属

日本貿易振興機構(ジェトロ) 神和住 愛子

パプアニューギニア(以下PNG)産品、と聞いてどんな製品を思い浮かべるだろうか。鉱業産品、木材、海産物など、資源を活かした産品か、椰子や貝の製品や木彫りなどの工芸品だろうか。

PNG政府は、国家中期開発戦略のひとつに、輸出主導による経済発展を挙げている。2003年経済成長率は、3年のマイナスを経て、2%伸びた。主に鉱業などの高価格と順調な気候条件が続いたことで輸出主導の成長が見られ、外貨の獲得につながった。日本との貿易関係は、旧宗主国で地理的にも近い豪州ほど多くはないものの、2004年の対日輸出が301億円、輸入は69億円、主要輸出品目は、銅鉱、木材、魚介類、コーヒーとなっている。

ジェトロでは、開発途上国の輸出産業を側面支援しており、展示会出展、専門家派遣、ミッション派遣、研修員受入などを実施している。2004年は(社)日本・南太平洋経済交流協会(JASPA)より「太平洋経済交流ミッション」を引き継ぎ11月6日~12日の間、ポートモレスビー、ゴロカ、ラバウルを訪問。現地の輸出有望産品に対し、産業別ワークショップを開催した。

今回は、ミッションに同行したコーヒー、スパイス、水産加工品、籐家具の専門家が、日本市場の特徴、対日輸出の際の注意点、PNG産品の評価、今後の輸出拡大に向けた可能性について講義を行った。持続的な輸出先確保のための共通課題としては、市場を意識した品質向上や、ビジネスの基本的なマナー(納期を守る、バイヤーとの連絡に対応する等)が挙げられた。また、サンプルを持参してコーヒーテイスティングやスパイスの品評会を行い、輸出に向けた品質管理、技術面について意見交換を行った。参加者からは、マーケットからの率直な意見は貴重、PNGにとってチャレンジング、ワークショップにはもう少し時間が欲しかった、など好評であった。

訪問中は、ワークショップのほか、ソマレ首相をはじ



コーヒーの  
カップピングセミナー



スパイスの  
ワークショップ



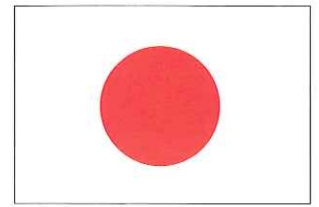
めとしたPNG政府・企業や日本人駐在員によるレセプション、産地訪問、ティエンセン貿易大臣などとの意見交換などを実施し、PNGの社会情勢を知る貴重な機会となった。現地での活動にご協力頂いた、外務省アジア大洋州課及び在PNG日本大使館、JICA・PNG事務所、IPA(投資促進機構)の皆様、出発前後にサポート頂いた前PNG田中辰夫大使、ニューギニア航空日本支社長の島田謙三様にはこの場をお借りして感謝申し上げたい。

ところで、2005年1~2月、パリで開催されたバッグの展覧会で、19世紀から現代までのPNG産ビルム(ひもで編んだ袋)が紹介された。エルメスが企画したこの展覧会には、世界から400点のバッグが集められ、ビルムは起源にストーリー性のあるバッグのひとつとして紹介されたのである。

日本では、愛知万博が開幕し、太平洋島嶼国パビリオンにPNG産品が展示されている。このような機会を通して、PNGの文化や人々をより身近に感じ、ビジネスの可能性を見出す機会が増える事を期待している。



# マイケル・ソマレ首相 来日歓迎レセプション



15 Feb. 2005 Tokyo

「マイケル・ソマレ首相来日歓迎レセプション」が平成17年2月15日(火)、パプアニューギニア大使館、日本・パプアニューギニア友好議員連盟、日本・パプアニューギニア協会の主催によりパレスホテルで開催されました。昨年9月の来日予定が延期になり、今回、ようやく実現にこぎつけたという経緯のためか、当日は町村信孝外務大臣、元文部大臣中曽根博文先生、日本・パプアニューギニア友好議員連盟の諸先生方、各国の大使をはじめ総勢200人以上の方々にお集まりいただきました。

午後6時、日本・パプアニューギニア友好議員連盟会長伊藤公介先生と当協会会長谷口誠にエスコートされながらマイケル・ソマレ首相が満場の拍手の中入場され、レセプションは始まりました。



ソマレ首相のスピーチ



谷口誠会長のご挨拶



マウエ大使のご挨拶



伊藤公介先生のご挨拶

まず初めに、谷口誠が「本日のレセプションが盛大に執り行われるはこびとなりました」と御礼を申し上げ、続いて伊藤公介先生がレセプション開催のご挨拶をされました。次にマイケル・マウエ駐日パプアニューギニア特命全権大使がソマレ首相をご紹介され、ソマレ首相が壇上に立たれました。まず、2003年の歓迎会につぐ、今回2度目の歓迎会開催にたいして感謝の意を述べられ、日パ両国間の友好が深まりつつある関係をお喜びになりました。そして独立以来30年間にわたる、日本国民の血税からなるODA援助により、PNGが発展してきたことへの感謝を表明されました。また、今年開催される「愛・地球博」には、愛知県藤岡町の協力によりPNGも参画でき、これを機に日本の投資家がPNGの資源開発に参加されることを望まれ



鈴木紀久代副会長より肖像画を贈呈



全国ソロモン会 菊本享様と吉田幸子様

ました。最後に、安全保障理事会の組織改正により、日本が常任理事国になることを支持する旨を表明されました。

次に、ソマレ首相へプレゼントの贈呈が行われました。まずは、当協会から副会長鈴木紀久代がソマレ首相の肖像画を贈呈。続きまして、全国ソロモン会から菊本享様がだるま絵を贈呈、吉田幸子様が埼玉の銘菓を贈呈、東京国際大学国際関係学部から佐々木陽子様、川越の伝統工芸品と昨年9月に同大学同学部の学生20名がラバウルを訪問した際の研修レポートを贈呈されました。東部ニューギニア戦友会からは、日本人形を贈呈される予定でしたが、残念なことに輸送上の理由により実現せず、そのかわり、8月に同



東京国際大学 佐々木陽子様

戦友会会長堀江正夫様がPNGにてソマレ首相にお渡しされるようです。

次にニューギニア航空日本支社中川千春様がキャビン・アテンダントの制服を着用してソマレ首相に花束を贈呈され、そして最後に、当協会名誉会長山下徳夫のスピーチ、乾杯で歓談に入りました。

食事はバイキング式の立食でしたが、なんと目玉は当協会法人会員でいらっしゃいます三高物産株式会社様ご提供のマグロー匹でした。パレスホテル腕利きの日本食板前様が威勢のいい掛け声とともにお客様の前でマグロをさばき、お刺身、お鮓に仕立てて下さいました。それから、当協会法人会員でいらっしゃいます株式会社ビーエムコーポレーション様と有限会社ユー・アンド・ユー様ご提供の香りたかきコーヒーでした。



学生たちとニコヤカに談笑



このコーヒーはお帰りの際のお土産用にもご提供いただきました。

レセプションも終わりに近づいた頃、町村信孝外務大臣が駆けつけて下さり、貴重なお言葉をいただきました。式典は終始なごやかに進み、8時、ソマレ首相が退場されて閉会となりました。

今回のレセプションには様々な分野の方々にご参加いただき、ご参加者同士も横のつながりができたのではないかと想像しております。

また当日、20名の方が当協会に入会して下さいました。この場をもちまして御礼申し上げます。



ソマレ首相と町村外務大臣



山下徳夫先生の乾杯の音頭



マグロの解体

当日は以下の方々にお手伝いをいただきました。  
(順不同、敬称略)

司会：川越こず恵

通訳：ロナルド・L・カジェタン

写真撮影：デザイン事務所クレスト 賀部祥平  
名札リボン準備：小泉元美

受付：(有)PNGジャパン 立澤優、(株)ネイチャーワークス 山崎繁、依光洋志、(株)グローブ 中村彰、(有)ユー・アンド・ユー 石神雅人、堀江鉄雄、荻原透、渡辺晋、デザイン事務所クレスト 賀部祥史、みえ子、協和海運(株) 齋藤優子、野崎真以、今村亜紀、(株)NTB 芳賀俊克、斎藤恭子、川原利之、アドベンチャー・アンド・エンドレス・ホリデイズ 實野明彦、ニューギニア航空日本支社 中川千春、櫻井紀子、小泉義元、板橋静江

どうもありがとうございました。

## SERIES トクピシンうんちく講座 (1) 臼井 裕之

### 「あなたはわたしのレバーちゃん」!?



(うすい ひろゆき)  
当協会会員、社会言語学の研究からトクピシンに興味を持ち、ラジオ・オーストラリアのトクピシン放送を聞いて独習、ボランティアでトクピシンを教えることも。



パプアニューギニアに興味を持っている人なら、この国の多くの地域でトクピシンという言葉が話されていることは知っている。しかし実際にトクピシンがどんな言語なのかを知っている人は意外と少ない。よく知らない人はトクピシンのことを、英語が「なまった」「くずれた」言語と思っていたりする。でもそんなことはない。この連載では、皆さんにトクピシンの魅力を感じてもらえるよう、トクピシン独特の表現を紹介していきたい。

パプアニューギニアに行ったことがあれば、挨拶の「モニン」、「アピヌン」くらいは聞いたことがあるだろう。monin, apinunと綴る。moninは英語のmorningとほぼ同じだし、apinunだってafternoonが「なまった」ものと言われれば納得してしまいそうだ。だが、もっときちんとした挨拶の表現もある。gutpela monin tru, gutpela apinun tru. 直訳すれば「とてもよい朝/午後を(あなたに)」となるだろう。この挨拶を見ると、形容詞には-pelaという語尾がつくし、「とても」にあたる単語はveryならぬtruだから、英語とは似ているようで違っている。トクピシンの文法構造は英語とは別なのだ。

だから、トクピシンは単に英語が「なまった」のではなく、英語の語彙をメラネシアの人たちがばらばらにして、自分たち流に再構成したものと思えば分かりやすい。

この再構成の過程で、単語の意味がまるで変わってしまうケースも少なくない。英語にはyou are my heartという表現があるが、これをトクピシンで言うとyu leva bilong miになる。yuが「あなた」、miが「わたし」なのはすぐに分かるだろう。bilongは所有を表す前置詞(英語のofに当たる)。そしてlevaは英語のlever、つまり肝臓から来ている。要するに、PNGの人たちは恋人に向かって「あなたはわたしのレバーちゃん!」と語りかけているのだ。実はトクピシンでは、肝臓ばかりか内臓なら何でもlevaと呼ぶ。だから英語のheartもlevaになる仕掛けである。これはそれほど奇妙なことではない。「肝っ玉」「肝に銘じる」と言うように、日本語でも「肝」は感情の座や内臓一般を意味することがある。偶然、日本では「あなたはわたしの肝!」と言わないだけで。 (左は「あなたを思うと心臓がドキドキ」と書かれたカード。心臓がLewaになっている)

日本・パプアニューギニア協会  
法人会員紹介 第1回

「みなさん、  
こんにちは。」

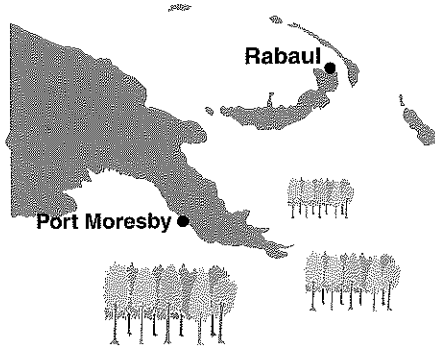
「晃和木材株式会社です。」

〒111-0053  
東京都台東区浅草橋1-9-13  
TEL03-3865-9080  
FAX03-3865-9092

OPEN BAY TIMBER LIMITED (略称OBT)は、晃和木材株式会社とPNG政府が共同出資して設立された会社であり、出資比率は、晃和木材株式会社が80%、PNG政府が20%であります。

設立はPNGが独立した1975年直前の1973年であり、以来既に32年が経過致しました。

操業は、EAST NEW BRITAIN州の州都ラバウルより南西約100kmのオープンベイ地区で、ここにPNG政府から約23万ヘクタールの森林の開発操業許可を得て、従来からの天然



木の伐採、輸出に加え、現在は植林事業及び成長した植林木の伐採輸出事業を主力に操業しております。

植林事業の開始は、1984年末でありますので、既に20年を経過し、現在までに植林を完了致しました総面積は約12,500ヘクタール(JR山手線の内側面積の約1.8倍)に達しています。

主としてユーカリ系のカメレを植林しておりますが、非常に成長が早く、植林開始当初に植えた植林木は直径40cmを超え伐採時期に達しており、2002年度より計画的な伐採を開始し、伐採した原木は、日本、韓国、ベトナム、中国等に輸出しております。

尚、政府との約束により伐採跡地は直ちに再植林を行いSustainable(持続可能な)操業を目指しております。

また、現在は全量原木にて輸出して

おりますが、並行して大規模な製材工場建設に向けて計画を推進中であり、3年後には完成する予定です。

この工場に投入される原木も植林木が主体となり、生産される製材品は海外に輸出されるだけでなく、PNG国内でも建築資材等として流通することになります。

地球規模で環境破壊が進み、CO2の排出と地球温暖化問題、資源の枯渇問題が深刻化してきている現在、我々は残された貴重な森林資源をこれ以上減らす事なく、我々自身で資源を生み出し、その資源を利用する方向に事業の転換を進めております。

またPNGでは相変わらず雇用問題が深刻で、都市部に出て来ても働く場所のない若者が多数居り、彼等が犯罪に走る傾向が増えております。

OBTは、現在従業員とContractorと合わせ400人以上を雇用し州内の企業の中では従業員数が多い会社の一つですが、将来製材工場が操業を開始すれば更に多くの従業員を雇用することになります。

その結果、地域住民の雇用機会が増え、ひいては現地人従業員の技術向上や地域の犯罪防止に少しでも貢献出来ればと考えております。

事務局からのお知らせ

マナム島への寄付について

前号の「ごらくちょう6」に同封いたしましたマナム島「避難民の教育に対する物品寄付のお願い(予告)」の件については、近々に行われます理事会にて、輸送方法など具体的な援助活動内容を決めていきたいと考えております。会員の皆様には、おってご協力をお願いをさせていただき運びとなりますので、何卒宜しくご協力をお願いします。

東部ニューギニア戦友会 合同慰霊祭

2005年4月5日、東部ニューギニア戦友会が靖国神社にて「合同慰霊祭」を行いました。同戦友会は会員の皆様が高齢の為、活動を徐々に縮小されており、当協会は「同じPNGに係わってきた仲間として協力していきたい」という主旨で、同戦友会の皆様に当協会の入会のご案内を配布させて頂きました。



「季節風貿易風」

当協会個人会員の浅山恭子様のご友人でいらっしゃる滝沢昌二様が、「季節風貿易風」(東京図書出版)というエッセイ集を出版されました。浅山様と滝沢様は、パプアニューギニアが独立する前、まだ同国に日本大使館がなかった時代に、ポートモレスビーでそれぞれ活躍されていたようです。滝沢様は現在、オーストラリア、ブリスベーンにご在住ですが、このような豊富なご経験を活かされて、PNGの人々との深い交流をユニークな視点から温かいまなざしをもって書かれています。ぜひ、ご一読を!

「愛・地球博」の  
パプアニューギニア・ブースに  
お立ち寄りください!

2005年日本国際博覧会「愛・地球博」にパプアニューギニアもブースを出しています。場所は、「愛・地球博」内の長久手会場、グローバル・コモン6の南太平洋共同館パプアニューギニア・ブースです。PNGの仮面、太鼓、絵などが展示してあるほか、民芸品や切手を販売しています。「愛・地球博」にいらっしゃる際はぜひ、PNGのブースも覗いてみてください。

協会のホームページが  
もうすぐで上がります!

現在、試運転中ですが、当協会のホームページが上がりつつあります。  
<http://www.jpng.or.jp/>  
ご興味のある方は、ぜひ一度覗いてみてください。

個人会員が100人を突破!

2005年2月末付けで、当協会個人会員数が100人を突破しました!これは皆様のご協力と寛大なご理解の賜物と深く感謝いたしております。今後も当協会を盛り立てて下さいますようお願い申し上げます。

編集後記

今号から、当協会法人会員様を順番にご紹介していきます。PNGにどんな会社や団体が関わっているのか、そしてどのような事業や活動を展開されているのか、案外私たちは知らないものです。PNGそして同国に係わる人々を知るためにも、この企画は続けていきたいと思っております。法人会員の皆様、ぜひご協力のほど宜しくお願いいたします。(佐藤直子)



日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的として、文化、学術、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

申し込み方法 / 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。  
年会費 / 個人会員 5,000円 法人会員 50,000円  
会費受付 / 郵便振替口座をご利用ください。

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。  
\*会員数 2005年3月末 法人会員/14 個人会員/102

口座記号 / 番号 00140-2-277582  
加入者名 / 日本・パプアニューギニア協会  
問合せ先 / 日本・パプアニューギニア協会 事務局  
〒102-0074  
東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館6階  
(ニューギニア航空日本支社内)  
電話:03-5216-3555  
E-mail:info@air-niugini.co.jp